

栗本鐵工所発祥の地

栗本鐵工所は近代水道の黎明期明治四十二年二月（一九〇九）に創業者栗本勇之助翁によりこの地（大正区千島）に呱呱の声をあげた

明治・大正・昭和・平成の九十三年もの永きに亘り上下水道用・ガス用鑄鉄管を製造し社会資本の充実に貢献してきた

平成十四年三月千島工場としての閉鎖に伴い、その証をここにしるすものである

